

情報を集めましょう

- ・デマ情報に惑わされない
- ・警察からの犯罪情報に注目

熊本地震では、「ライオンが逃げた」というデマ情報が広がりました。

情報が本当か嘘か分からないということもあると思いますが、警察や自治体から発表される正確な情報を収集し、デマ情報に惑わされないようにしてください。

警察官は、避難所を訪問し、犯罪に遭わないため注意喚起を積極的に行います。

知ることが守ることになります。

-3-



こんな犯罪が増えます

- ・避難で無人となった住宅を狙った泥棒、女性・子どもを狙った性犯罪
- ・公的支援金貸与融資や住宅修繕にかこつけた詐欺
- ・衣服や食料品など生活必需品を高値で売る悪質商法
- ・避難所での盗難

避難生活が長く続くと、将来への不安やストレスなどからトラブルが起こりやすくなります。

貴重品は常に携帯し、トイレや着替えをするときは、使用前に不審な点がないか確認するなどの対策をしましょう。

-2-



被災された方へ

熊本県警察では、熊本地震や令和2年7月豪雨など、過去の災害で被災者から寄せられた多くの要望や意見を受け止めるとともに、皆さまが避難生活において、更なる犯罪等に巻き込まれることがないように、「防災シニア」（シニア目線の防災防犯に特化したマニュアル）を作成しました。

避難生活での不安が少しでも解消されますよう、是非、ご活用ください。

また、「避難所での生活は不自由なので避難したくない」ということがないように、早めの避難と日頃からの準備をお願いします。

-1-



防災防犯マニュアル 熊本県警察

相談窓口

避難所での困りごとやトラブルに関する相談は、下記まで！

- ◇ 避難所の相談窓口
- ◇ 最寄りの警察署（警察署）
電話番号： -
- ◇ 熊本県女性相談センター
096-381-4454（ストーカー等）
096-381-4454（DV）
- ◇ 性犯罪相談電話
0120-8343-81
096-384-1254
- ◇ 警察本部警察安全相談室
（平日：午前8時30分から午後5時まで）
#9110 096-383-9110

-7-



①

なやまず相談

- ・相談窓口の活用
- ・緊急事案は、その場で110番！

高齢の方が、身内の方等から暴力や暴言、介護放棄等をされているのを見かけたら、避難所相談窓口の相談員や各種相談電話などを通じて通報してください。

また、万が一、あなたが被害に遭ってしまったら、更なる犯罪を防止するためにも、すぐに警察に通報し、被害を届け出ましょう。安全な場所で話をお聞きします。

-6-



みんなで避難所運営

- ・災害時こそ思いやりと支援
- ・慣れない環境での心とからだの健康

熊本地震では避難所運営の担い手不足が課題となりました。

避難所には、高齢者、子ども、妊婦、障害のある方、外国人など援助や配慮が必要な方がいます。避難所をより良い環境にするために、可能なら自ら運営に参加し、助け合いながら生活しましょう。

車中泊をされる方もいるかもしれませんが、運動不足による二次被害に気をつけましょう。

-5-



あなたの視点が子どもを守る

- ・子どもたちを見守りましょう
- ・人生のベテランとしてアドバイス

ストレスの高い避難所では、子どもたちへの本の読み聞かせや保護者代わりの見守りが、防犯面だけでなく、子どもたちの心の健康面にも大切です。

避難所運営などに皆様の知恵や経験が反映されるよう積極的に意見を伝えてください。

③

-4-

